

# 鴨居中だより

横須賀市立鴨居中学校 校長 山田伊久男

保護者の方と一緒に読みましょう 令和3年(2021年)3月2日 今年度NO.10(通算33)

## ●3年生を送る会(3月5日)と卒業式(3月11日)にむけて

3年生たちの活動が、いよいよフィナーレに入りました。

「3年生を送る会」は合唱を行わず、体育館に集まった3年生に、下級生の代表がメッセージを送ります。また、3年生からは、個人やグループが一言ずつ発した言葉を動画に仕上げ、教室にいる下級生に見てもらおう形にしました。互いの気持ちをはっきりと伝えることでしょう。

一方「卒業式」には在校生は参加しません。卒業生の発表は保護者と職員が見届けます。ここでも合唱は行いませんが、今度は動画ではなく、その場で学年の半分ずつが交代で合唱台に上り、群読を行います。全員で声をそろえることはできませんし、例年と同じようにやろうという考え方ではできません。その分、ここまで一緒に過ごしてきた、学年の教員と生徒達が、最後に知恵を出し合っています。「どんなことができるのか」「どんな方法をやりたいのか」、新しい発表を作り上げようと頑張っています。「今できること」に挑んでいる3年生たち。胸を張って、鴨中生だったことに誇りをもって、巣立って行くことを期待しています。

## ●新入生保護者説明会 2月3日

新入生保護者学校説明会を行いました。緊急事態宣言下のため、換気、検温などに加え、座席に番号をつけたカードを用意し、それに記名していただき、だれがどこに座っていたのかを後で調べられるようにしました。ドアを開放して行いましたので、日差しがあって暖かい日で本当に良かったです。

冒頭、「詰襟タイプ」「ブレザー・スカートタイプ」そして、来年度からOKとなる「ブレザー・スラックスタイプ」(写真がなくすみません。右のイラストは「イメージ」です。ネクタイは無く、上下紺色です。)のモデルに扮した3人の生徒会役員にも参加してもらいました。その後、本校の学校目標や、学習や生活などについての話をさせていただきました。

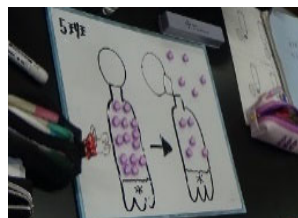
新入生のみなさんとの、4月の新たな出会いが待ち遠しいです。



## ●校内授業研究会 2月5日

かねてから計画していた1年社会、2年理科の校内研究授業を無事に行うことができました。緊急事態宣言下のため、実施自体についても、また、授業の内容や方法についても、市教委の指導主事と相談しながら進めてきました。新学習指導要領の内容に合わせて、生徒たちが**学習課題を主体的に考え、意見を交流しながら考えを深めている様子**を見ることができました。緊張している様子もなく、**学習に真剣に楽しそうに取り組んでいる姿**は、とても頼もしく見えました。

授業後には各指導主事から講評と助言をいただきました。特に、**今までと大きく変わる「評価の仕方」**についてご指導いただき、非常に充実した時間になりました。

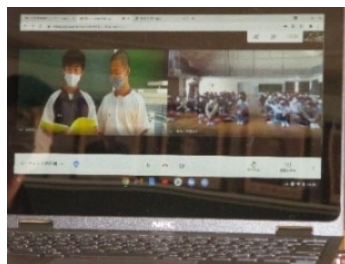


## ●オンライン小学校訪問 2月8日

毎年、本校生徒会役員が両小学校に訪問していますが、小学校の校長先生から「今年はオンラインでやってはどうか」とご提案いただきました。なるほどと思い、担当教員と相談し、横須賀市教育研究所の先生方からアドバイスを受けたり機材の準備をしたりして、実施できることになりました。

当日、役員たちの呼びかけに、画面の向こうの小学生から返事が返ってきたときには、生徒たちから期せずして「お〜」というどよめきが！

会はその後もスムーズに進み、いい取り組みになりました。研究所の先生方との打ち合わせに、両小学校の先生方も参加して下さる等、新しいことに取り組んだことで、学校間の結びつきも一層強まったように思います。



## ●3年生のクラスマッチ 2月24日

3年生のクラスマッチが好天の中で実施できました。種目はバスケットボールとサッカーで、最後には学級の生徒全員が走る「クラス対抗全員リレー」の企画もありました。グラウンドで思う存分体を動かし、大きな声を出している様子に、「晴れてよかったな〜」とつくづく思いました。

例年は、PTA 学級委員会のみなさんが、生徒たちのために豚汁を作ってくださっていました。今年は知恵を絞って、インスタントのカップ味噌汁を全員に用意していただきました。お湯を入れて来てくださったお母さん方の温かい愛情は、生徒達にもきっと伝わったと思います。

そして、学級委員さんは「この取り組みを1、2年生にも」と考えてくださいました。1、2年生のみなさん、クラスマッチの日は、各自、お椀を用意してきてください！



## ●3年生の朗読劇「走れメロス」 2月25、26日

色々なことをやって驚かせてくれる3年生の次なる企画は、なんと「朗読劇」！太宰治の『走れメロス』を、「お昼の鴨中放送」の時間に、2日間生放送で演じてくれました。こんな形での「ライブ」もできるんだと感心しました。ダブルキャストで体育館に広がって行われた演技は、箸を持つ手を止めて聞き入ってしまう、素晴らしいものでした。キャストたちの声を一部紹介します。

・みんなで一つのことをやるのはいいことだ・1年前からあったこの企画は一度はなくなったが、計画したことができてうれしい・登場人物への感情移入は難しかったけど、できてうれしい・ナレーション役でも登場人物の気持ちになれた・走ってくる役だったので、今も実際に走って役作りをした・2年のときはそれほどやる気はなかったけど、今年この機会ですら発表ができてうれしかった。・コロナ禍でもみんなに発表できて一つの大きな体験になった



## ●快挙！！PTA 広報誌 全国で奨励賞！

本校のPTA 広報誌が、神奈川県で「奨励賞」をいただき、さらに、第42回全国小中学校広報誌コンクールでも、「奨励賞」をいただきました！すごい快挙ですね！！広報委員のみなさま、おめでとうございます！！

## ●お詫び

前号に掲載した『NPO 法人よこすか総合型地域スポーツクラブ』の記事の中で、代表の斎藤幸次様の市体育協会での役職は「副会長」でした。お詫びして訂正いたします。

